

一般社団法人日本解剖学会 2022(令和4) 年度第1回理事会 議事録

日 時：2022(令和4)年3月26日(土) 13:30～15:50

場 所：一般財団法人口腔保健協会 302会議室（オンライン併催）

出席者：渡辺 雅彦（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、佐藤 真（第127回全国学術集會会頭）天野 修、大内 淑代、大和田 祐二、尾崎 紀之、小澤 一史、海藤 俊行、金井 克光、城戸 瑞穂、阪上 洋行、島田 昌一、徳田 信子、野田 泰子、菱川 善隆、堀 修、和中 明生（以上、理事）、岡部 繁男、八木沼 洋行、（以上、監事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常務幹事）、宍戸 基行、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 理事長および第127回総会・全国学術集會会頭 挨拶

渡辺理事長および佐藤 真 第127回総会・全国学術集會会頭から挨拶があった。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条に基づき、岡部繁男監事と八木沼洋行監事が議事録署名人として選任された。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

(1) 2021(令和3)年度第8回理事会（2021(令和3年)12月4日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

- (1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）
資料に基づき、3年間未納者（46名）について報告された。3年未納者については、できるだけ会費納入の声かけを行うこととなった。
- (2) 教授就任による代議員について
資料に基づき、教授就任に伴う以下の1名の代議員申請者について、常務理事会で承認されたことが報告された。
篠原 良章 先生（自治医科大学解剖学講座組織学部門 教授 2019年4月1日就任）
- (3) 男女共同参画学協会連絡会報告
資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会の定款および規程の改廃がなされることについて報告された。
- (4) 代議員辞退届について
近畿支部において、代議員辞退の申請があったことが報告された。
- (5) その他
特になし。

2. 編集報告

- (1) ASI編集委員会報告
資料に基づき、CST特集号の発行（オープンアクセス・7月予定）とASIのAssistant Editor（2名）の導入について、報告された。
- (2) 日本医学会医学雑誌編集ガイドラインとCOI管理ガイドライン対応について
資料に基づき、日本医学会医学雑誌編集ガイドラインと日本医学会COI管理ガイドラインの一部改定に伴って解剖学雑誌とASIの対応を進めることが報告された。また、日本医学会COI管理ガイドラインの改定内容としては、国際基準であるICMJE DISCLOSURE FORM2021が採用されたことが報告された。
- (3) ホームページアクセス解析報告
資料に基づき、2021年の学会ホームページアクセス状況について報告された。アクセス指数は2020年に引き続き上昇傾向であり、特に「解剖学ひろば」から閲覧を始めるユーザーが上昇していることなどが報告された。
- (4) 解剖学のひろばへの書評コーナー設置について

資料に基づき、解剖学のひろばへの書評コーナー設置についてアウトリーチ委員会で検討されたこと、対象書類の選び方を公平な体制にする必要があるという意見が出されたことが報告された。常務理事会では、解剖学雑誌において解剖学者の肖像というコーナーも予定されているのでそちらで紹介する方法もある、書評というよりは書籍紹介の方が良いのではないかなど意見がだされたことが報告された。

- (5) ご遺体を用いた解剖学的研究論文への対応について
資料に基づき、ご遺体を用いた解剖学研究論文の出版の際に、方法のセクションに標準化されたステートメントを記載すること、ASIの意思表示として竹田ASI委員長をauthor listへの掲載することがASI編集委員会で承認されたことが報告された。
- (6) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2022(令和4)年度第127回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、2022年3月27日より、全面Web方式で開催予定であることが報告された。
- (2) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、2023年3月18-20日に東北大学 川内キャンパスで開催予定であることが報告された。
- (3) 認定二級技術者審査結果について
資料に基づき、1名の合格判定があったことが報告された。
- (4) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、分科会用語委員会(2月8日オンライン開催、若山解剖学用語委員が出席)において、「優性遺伝」「劣性遺伝」を5年程度の期間、「顕性遺伝(優性遺伝)」「潜性遺伝(劣性遺伝)」と併記した後、「顕性遺伝」「潜性遺伝」を推奨用語にすることが決定されたなど報告があった。また、2021年度連合加盟学会連絡協議会(2月9日オンライン開催、渡辺理事長が出席)、第89回日本医学会定例評議員会(2月25日オンライン開催、仲嶋常務理事が出席)の報告があった。さらに、第2回日本医学会連合Rising Starリトリート(2023年2月26~27日、淡路夢舞台にて開催予定)についての報告があった。
- (5) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第24回定例会議(12月23日開催、寺田常務理事が出席)の内容(各委員会の活動内容、研究評価に関するサンフランシスコ宣言(DORA)への署名、学術会議関連の連絡事項)の報告があった。
- (6) 日本脳科学関連学会連合報告
第23回評議員会(メール持ち回り形式、連携法人会員入会承認についての審議)の内容の報告があった。
- (7) 「解剖技術職員の確保と処遇改善についての要望書」提出について
資料に基づき、全国医学部長病院長会議に要望書を提出したこと、およびその内容について報告があった。
- (8) 若手研究者の会活動状況について
資料に基づき、第127回総会・全国学術集会における若手研究者の会が関連するシンポジウムなどの活動報告があった。また、教育・研究交流掲示板の作成について報告があった。
- (9) 国際渉外関係について(KAA、APICA、IFAA)
資料に基づき、第127回総会・全国学術集会におけるKAAとの合同シンポジウム、第10回APICAのオーストラリア・ニュージーランド合同開催の予定、および再延期になった第20回国際解剖学会議(イスタンブール(トルコ))の現況について報告があった。
- (10) 次期賞・研究費候補者選考委員会の構成について
2022年度の賞・研究費候補者選考委員会の構成について下記の通り報告があった。

竹田扇（委員長、帝京大・医）、弦本敏行（長崎大・医）、内藤宗和（愛知医大）、秋元義弘（杏林大・医）、藤山文乃（北海道大・医）、宇田川潤（滋賀医大）、城戸瑞穂（佐賀大・医）、八代健太（京府医大）、太田啓介（久留米大・医）、鶴川眞也（名古屋市大・医）、小林靖（防衛医大）、長谷川智香（北海道大・歯）

(11) 学術委員会アンケートについて

資料に基づき、第127回総会・全国学術集会における参加者アンケートのオンライン実施について報告があった。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2022(令和4)年度中間決算書について

資料に基づき、2022（令和4）年度中間決算書（1月1日～2月28日）について報告があった。

(2) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、ASIに「CSTに関する特集号」が掲載される予定であること、CSTガイドラインの英訳版がASIと「Surgery Today」に掲載する予定であることが報告された。また、第122回日本外科学会定期学術集会において、CST推進委員会・厚生労働班会議合同企画のパネルディスカッション開催が4月16日に予定されており、木山理事が発表予定であることが報告された。

(2) 会員名簿2022について

資料に基づき、会員名簿2022年が1月25日付で刊行されたことが報告された。

(3) 小澤理事の支部異動に伴う関東支部理事退任について

資料に基づき、小澤理事の後任として阪上洋行氏（北里大学）より理事就任の承諾が得られたことが報告された。

(4) 死体解剖資格審査について

死体解剖資格の申請書類の不備が多発しており、3月15日に全会員へ発出した注意喚起のメール内容について報告された。

(5) その他

特になし。

V. 審議事項

1. 2021(令和3)年度決算および業務監査報告の件（庶務・会計）

資料に基づき、決算の内容および監査についての説明があり、承認された。なお、監査終了後に支部学術集会の余剰金及び学会からの助成金の計上に誤りがあることが判明したが、金額が少額のため令和3年度決算書の修正は行わず令和4年度に過年度損益修正で処理するよう外部監査人から指導を受けたことが報告され、了承された。また監査報告において、オンライン方式における会員間交流の活性化、紙媒体の名簿発行の持続性、終身会費の若手育成への有効活用について提言があったことが報告され、名簿のオンライン化および若手用の積立金口座の作製について、常務理事会で議論の上、改めて理事会に諮ることとなった。

2. 2022(令和4)年度予算および事業計画の件（理事長・会計）

資料に基づき、和文誌が年2号化されることを含めた事業計画、ならびに対面開催もふまえた予算に関する説明があり、承認された。

3. 2022(令和4)年度定時社員総会資料と議長の確認（庶務）

資料に基づき、報告事項の詳細を含めた総会の議題についての説明があり、承認された。

4. 旅費規程一部改正について（庶務）
資料に基づき、全国学術集会の前後に開催される学会会務に出席するための旅費が第3者から支給されない場合、その旅費を学会から支給するための旅費規程の改正について説明があり、承認された。
5. ASIのプレプリント制度導入について（編集）
プレプリントの導入とともに、Springer-Natureのプレプリントサイトへの誘導は行わないことがASI編集委員会で承認された旨、資料に基づき説明があり、承認された。
6. バナー広告における掲載基準、ならびに今後のあり方について（編集）
資料に基づき、解剖学会における広告のあり方の案、および学会ホームページにおけるバナー広告掲載基準の案、さらにこれらを定めることになった経緯についての説明があり、承認された。
7. 2022(令和4)年度奨励賞募集要領について（企画渉外）
資料に基づき説明があり、旧版の募集要項からの改訂内容、ならびに申請用紙のフォーマットについては、引き続き委員会で議論する方針が承認された。
8. 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会開催日時について（理事長）
当初の日程では半数近い理事メンバーの都合がつかないことから、15日以降を前提として生理学会、薬理学会と相談したところ、会場の都合もあり2025年3月17日(月)～19日(水)のみが可能であったことが報告された。同日程での開催での支障がない旨、他学会に報告することが承認された。
9. その他
次回理事会を12月10日（土）14:00-17:00 東京駅近郊の会議室、またはオンライン開催とすることが承認された。